小柳　侑季

高６１期

中学校保健体育教諭

中学校 3 年生。当時の担任の先生に勧められるがままに場所も制服も、学校の雰囲気も知らない登美丘高校を受験すると決めた私。今、思い返せばなんて大胆な判断なんだ…と思いますが、そんな大胆な判断をした自分に、ナイス判断！！！と言いたいです。そう言えるのも、登美丘高校で過ごした 3 年間がとても充実した 3 年間だったからです。

高校時代はバスケットボール部に所属し、主将も務めました。膝のケガで手術、そして 1 年間のリハビリを余儀なくされた時期もありましたが、それでも部活を辞めずに頑張れたのは、部活の同期やクラスの友達、そして当時の顧問の先生の励ましのおかげです。入学当初から、将来は体育教師になりたいと思っていた私に「神前（旧姓）のその経験はいつか必ず自分の糧になるし、教師になった時にも必ずいかせる時が来る」と言って下さった先生の言葉は、きついリハビリを頑張れる理由の一つでした。リハビリを終え、コートに復帰したときの喜びは今でも忘れません。

また、高校 3 年生での体育大会では全体指揮をさせていただきました。私たちの学年の時に初めてできた役割で、朝礼台に立ち、号令を出したり、体育大会の運営を担うものです。全体を動かすためのノウハウを先生方に教わりながら体育大会を進行し、無事に終えたときに味わった達成感は何ものにも代えがたいものでした。今でも全体指揮という役割があると聞き、なんだか嬉しく思うとともに、これからも続いてほしいなと思います。これら以外にも高校時代の思い出はたくさんあり、ほんとうに楽しかった思い出ばかりです。

体育教師として働く今、高校時代の楽しかったことも、しんどかったことも全て私の糧になっています。一見、教師として関係ない経験なのでは？と思うことでさえもです。そして、これからも私の頑張る源になってくれると思っています。

最後になりましたが、100 周年、本当におめでとうございます。いつまでもだれかの頑張れる源になれる学校でありますように。

■プロフィール

1995 年 1 月 14 日生　大阪府出身

2013　年 3 月　登美丘高校卒業

2017 年 3 月　大阪大谷大学　人間社会学部　スポーツ健康学科卒業

2017 年 4 月　吹田市立中学校勤務